

実技指導者ライセンス検定試験実施マニュアル

	ラウンドダンス			
	キュアー	インストラクター	シニアインストラクター	インストラクターコーチ
筆記試験				
1 実施の目的	指導者としての知識を確認するため実施する			
2 実施の方法	1名以上の補助員により、試験用紙の配布、試験の説明、試験の監督を行う			
3 出題の方法	問題・解答用紙はA3サイズとし、読みやすい字体と大きさの文字とする。			
	出題形式は記述式、選択式とする。			
4 出題範囲及び内容	別表-2-7 の判定方法の筆記試験の欄から出題する	別表-2-6 の判定方法の筆記試験の欄から出題する	別表-2-5 の判定方法の筆記試験の欄から出題する	別表-2-4 の判定方法の筆記試験の欄から出題する
5 設問数	共通問題2問、層別問題3問とする（合計 5問）			
6 配点	100点満点(20点×5)			
7 所要時間	20分	30分	40分	
	受験者は開始15分を過ぎれば、解答用紙を提出して退室できる。			
8 合否判定の基準	60点以上を合格とする	60点以上を合格とする	70点以上を合格とする	80点以上を合格とする
面接試験				
1 実施の目的	指導者としての適性を確認するため実施する。			
2 面接の方法	実技試験と併せて実施できる。			
	検定員による面接 4人まで同時に実施できる		検定員による個人面接	
3 質問内容	*氏名と所属クラブ *RD経験年数と指導経験年数 *所属クラブでの役職 *S協及びS協関連組織の 行事への参加経験			*氏名と所属クラブ *RD経験年数と指導経験年数 *所属クラブでの役職 *S協及びS協関連組織の 行事への参加経験 *指導者育成についての抱負
4 所要時間	1人 3分以内	3分以内	5分以内	
5 合否判定の方法	検定員の合議により合否を判定する。			
6 合否判定の基準	*指導者にふさわしい服装・態度・言葉使いか *所属クラブやS協への協力が期待できるか			

実技指導者ライセンス検定試験実施マニュアル

	ラウンドダンス			
	キューアー	インストラクター	シニアインストラクター	インストラクターコーチ
実技試験				
1 実施の目的	指導者としての技術的な適性を確認するため実施する			
2 準備	S協推奨曲／クラシック／推薦曲の中から課題曲を3曲、試験日の1週間以上前に受験者に通知し、受験者は内1曲を準備する			
	(課題曲の音源を配布した場合は検定会終了後に回収又は消去する)			
	※課題曲はPHIIのTSとWZに限定する		－	
	音響機材一式(アンプ・マイク・マイクケーブル・スピーカー) 課題曲の音源／音楽再生装置は、受験者が持参できる。 キューイング入りの3曲は、検定スタッフが準備する			
	演技者1組以上			
3 試験の手順	1人の受験者を試験会場に入れて待機させる			
1) ダンスの技術	ポジション・方向を指示し、ソロで形を作らせる TS又はWZのPH-IIフィギュアの中から4小節の動きを指示し、ソロでカウントを言いながら踊らせる		課題曲の指示したパートを含むキュー入り音楽を流しソロで踊らせる	
2) 指導の技術	音源再生装置を持参したならば、試験会場のアンプに接続させる。(持参しなければ、検定スタッフが用意した音源と装置を使用させる) マイク・音楽ボリューム等の調整を実際に音を出して行わせる。			
	音楽に合わせて課題曲の指示した1パート(イントロに加え16～24小節)のキューイングをし、演技者を踊らせる。(キューカードを見てもよい)	課題曲の中から指定した1つのフィギュアを説明させる (演技者に対し、そのフィギュアの説明を行う)	課題曲の中から指定した1つのフィギュアの動作とスタイリングを演技者を使って説明させ、音楽に合わせて指示した1パート(イントロを除く16～24小節)のキューイングを行わせる (キューカードを見てもよい)	
	終了したら退室を指示する			
4 試験の範囲	別表-2-7 の判定方法の実技試験の欄から出題する	別表-2-6 の判定方法の実技試験の欄から出題する	別表-2-5 の判定方法の実技試験の欄から出題する	別表-2-4 の判定方法の実技試験の欄から出題する
5 所要時間	10分以内		15分以内	
6 配点	ダンスの技術 40点 キューイング技術 60点	ダンスの技術 40点 指導の技術 60点	ダンスの技術 30点 キューイング技術 30点 指導の技術 40点	
7 合否判定の基準	ダンスの技術 25点以上 キューイング技術 35点以上	ダンスの技術 25点以上 指導の技術 35点以上	ダンスの技術 20点以上 キューイング技術20点以上 指導の技術 30点以上	ダンスの技術 25点以上 キューイング技術25点以上 指導の技術 30点以上
	合計 60点以上		合計 70点以上	合計 80点以上
	上記判定基準の全てを満たした者を合格とする 検定員の平均点とし、小数点以下は切り上げとする			
8 検定員の資格と員数	シニアインストラクター以上 3名		インストラクターコーチ1名以上を含む シニアインストラクター以上 3名	